

桃陵中だよい

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃
令和3年9月30日 10月号

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ
社会に貢献する 生徒を育む』

“地生連(ちせいれん)”って?

南浜・桃陵地域には、学校・PTA 以外にもたくさんの「地域活動の団体」があります。学校ごとの「学校運営協議会」幼小中参加の「南浜学校運営協議会」、南浜子育て支援協議会「ひまわりの会」など、たくさんの地域の方々が参加されて、みなさん(南浜地域の子どもたち)を見守っています。その一つが「地域生徒指導連絡協議会」で、“地生連(ちせいれん)”と呼んでいます。その構成メンバーは、南浜少年補導委員会・小中学校の教職員・PTA などの方々です。8月下旬に開催予定の「音楽と映画の夕べ」は、コロナ禍の中、2年間開催されていません。1月成人の日に開催予定の「南浜学区成人式」も2年連続で開催されないこととなりました。開催されると19回目となる歴史あるもので、京都市の中でも有名な「地域行事」です。新型コロナウイルスが収束(終息)して、この2つの行事が少しでも早く再開されることを祈ります。

3つ目の行事(取組)は「元気になる標語」です。小学校と本校の全校生徒のみなさんに創ってもらいました。各クラス1つ程度を選び、この地生連の方々に「優秀作品」を選んで表彰してもらうことになっています。11月に結果発表し、地域に12個ある「地生連の掲示板」(学校の前にもあります)に貼り出します。ぜひ、選出された「優秀作品」を鑑賞して味わいましょう。どんな作品が出てくるかとても楽しみです。

土壤栽培と水耕栽培について ~ 技術家庭科より ~

技術の授業で、1年生は土壤栽培により(左の写真)、2年生は水耕栽培により(右の写真)、“水菜”を育てています。植物を栽培するときにどのようにすれば、よく育つかを考え実践する授業です。今年からの新しい学習指導要領では、学びの段階を“①知識を知る ②概念を理解する ③それらを活用できる”とすると、今までの学習(授業)は、“①水菜そのものや水菜の栽培の仕方”を知識として知り、“②どのような環境の中で、よく育つか”を理解する ぐらいまでだったが、これからの学習(授業)は、①②の学びの上に、それらを使って、実際に活用できる力や実践できる力をつけていこうと捉えています。

少し難しい話になりましたが、これから授業で身につける力は、生きていく中で(大きな意味で)“役に立つもの”にしていこうということです。1年生が毎朝、プランターに集まり水をあげている姿がとても印象的でした。植物を育てることはとても価値のある体験だと感じました。水菜が大きく育つといいですね。



教育実習生～島田都希先生より～

桃陵中学校の皆さん、3週間という短い時間でしたがお世話になりました。教育実習中、様々な学年の授業を見学させていただいたり、実際に授業を行い、コミュニケーションをとってくれたことにより、私にとって忘れられない教育実習になりました。ありがとうございました。

教育実習生 島田 都希

今後の予定

10月 1日(金) 2,3年 第3回定期テスト,④⑤ 1年①②③④⑤ 1年部活動なし～10/7 ※英検
4日(月) 3年 生徒向け「進路説明会」 (放)選挙管理委員会
5日(火) 選挙告示(～10/11) ※SC, SSW パン販売なし
6日(水)
7日(木) 1年 第3回定期テスト,⑤ ※家庭学習課題の日
8日(金) 1年 第3回定期テスト, 5,6限:学習確認プログラム
2年 5,6限:防煙教室 3年 5,6限:学習確認プログラム
※11月分給食 マークシート予約 メ切日

※10月中旬以降の行事予定は調整中のため、確定次第お知らせいたします。